



食品ロス対応

◎記事から読み取ろう

○ _____ は、恵方巻きについて _____ に対して _____ を要請した。

これは、 _____ ためである。

○なぜ恵方巻きの廃棄が問題になるのでしょうか。

ため

○スーパーやコンビニの対応をまとめよう。

・スーパーモリナガ

・佐賀玉屋

・イオン九州

農水省は11日、2月の節分に食べる恵方巻きの商戦が活発になるのを前に、需要に見合った販売をするようコンビニやスーパーの業団体に文書で要請した。売れ残った恵方巻きが大量に捨てられることが問題となっているため。恵方巻きの廃棄でこうした要請をするのは初めてという。

恵方巻き 過剰生産やめて



コンビニやスーパーで販売している恵方巻き

大量廃棄を問題視

恵方巻きの刺し身をそのまま使っていることから、農水省担当者は「口持ちせず売れ残る恐れがある」と指摘。「貴重な食料資源を有効利用してほしい」と話した。恵方巻きは年ごとに決まった方角の恵方を回して食べる縁起が良いとされる太巻きで、近年人気が広がった。一方、過剰生産により売れ残った商品が大量に廃棄されていることが会員制交流サイト(SNS)などで問題視されていた。農水省の要請を受け、各

農水省、業界団体に要請

団体は周知をいいた。日本スーパーマーケット協会の担当者は「業に担当部署への通知をお願いした。予約販売などによる売上の努力は従前から行っている」と話した。ローソンは「予約が大前提で、前年実績を参考に仕入れられている。フランチャイズ加盟店に過剰発注しないよう周知徹底する」としている。

戸惑いの声もあった。業界団体の関係者は「個別商品を取り上げるのはバフオーマンスにすぎないのではないか。食品ロスを減らすには客に切れを理解してもらう必要がある。政府にはその感もはっきりアピールしてほしい」と注文した。

(佐賀新聞 2019.1.12 付)

食品ロス防止、アイデア商品...



イオン九州が販売する恵方巻き。のり巻きのような断面の恵方ロール

2月3日の節分に食べると縁起が良いとされる恵方巻き。スーパーやコンビニでも商戦が始まっている。今年も、販売合戦の裏側で、大量廃棄が行われていることを問題視した農水省が、需要に見合った販売をするよう要請。食品ロスを防ぐことも課題になっている。県内の商戦はどうだろうか。

「廃棄を最小限に抑えた。予約販売が多くを占め、いのはどのお店も同じ」と「公分にはあまり作らない」話すのは、10年以上前からと話すのは佐賀玉屋(佐賀市)。恵方巻きの販売しているスーパーモリナガ(佐賀市)も、右肩上がりだ。食材の恵方巻きが人気だ。販売は頭打ち状態。毎食品ロスを考慮しつつも年の販売状況を踏まえ、1月に重なり、例年よりも数を減らすという。盛り上がりそう」と期待を

恵方巻き商戦 あの手この手

高級食材、ケーキ登場 予約販売も



込める。焼き肉店監修の「牛カルビ焼肉巻」、具材がはみ出し、見た目もおもしろい。うな「海鮮オイルスター巻」など、ファミリー層に照準を当てた商品を充実させている。

デザートにぴったりの恵方巻きも、チナツ洋菓子店(神埼郡吉野ヶ里町)では、食用の竹炭パウダーを生地に練り込み、恵方巻きに見立てた「恵方ロール」(長さ24センチ、税抜き1700円)を販売する。大粒のイチゴと練乳クリームが中に入ったおろ、カットするのり巻きのような断面で、インスタ映えも狙って、年に一度のイベントを楽しんで、店主の合瀬千夏さん(37)は「この商品は状況によって予約のみ。食品ロスの心配はなさそうだ。」(福本真理、上田麻美、井上耕太郎)

(佐賀新聞 2019.1.31 付)

◎広げよう・深めよう・◎自分の考えをまとめよう

*友達と意見交換したり、家族と話し合ったりしよう。

○「食品ロス」を減らすために、自分たちで取り組むことを話し合ってみよう。

恵方巻き以外の食品や食事についても考えてみよう。